

# State of the ART

## 乳癌における Immuno-Oncology

高田正泰<sup>1</sup>, 戸井雅和<sup>2</sup>

1 京都大学医学部附属病院手術部／乳腺外科助教

2 京都大学大学院医学研究科外科学講座乳腺外科学教授

### ポイント

- 乳癌のサブタイプにより免疫原性に違いがある。
- 乳癌における免疫チェックポイント阻害薬単剤での奏効率はそれほど高くはないが、長期にわたる奏効が報告されている。
- 免疫チェックポイント阻害薬と化学療法との併用による効果が示されている。
- 分子標的薬や放射線療法との併用効果が期待されている。
- 効果予測に関するバイオマーカー開発が急務である。